

2022年3月16日

## 第33回「大人になったらなりたいもの」調査結果を発表

医師・看護師・薬剤師といった医療関係の職種が人気！

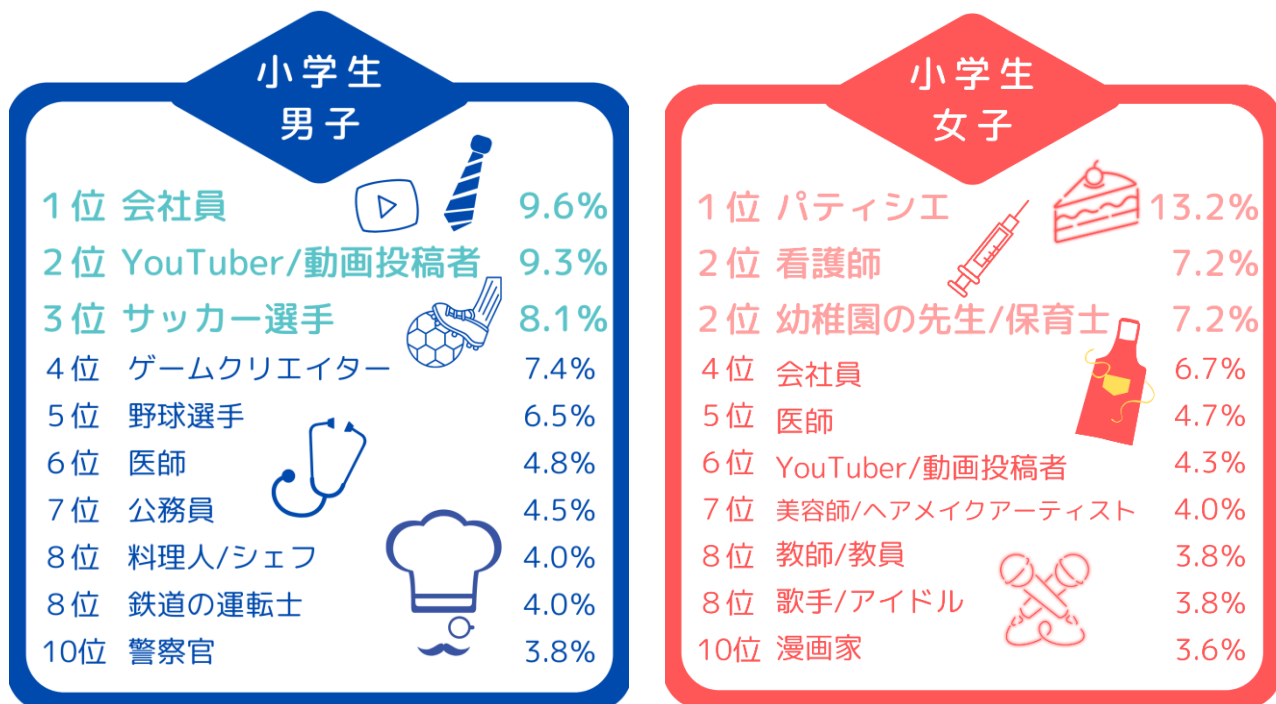
会社員としてやってみたい仕事 1位は「科学技術・ものづくり」！

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)が、全国の小学生・中学生・高校生 計 3,000 人を対象に行った、第 33 回「大人になったらなりたいもの」のアンケート調査結果をお知らせします。

### ■医療従事者の働く姿が小学生の心にも響く

2020 年から引き続き、連日新型コロナウイルス感染症についての報道が絶えなかった昨年。前回調査と比較すると小学生男子では「医師」が6位(4.8%)に、小学生女子では「看護師」が2位(7.2%)、「医師」が5位(4.7%)にランクインし、医療関係の職種が上位となる変化がありました。テレビ等を通じて、実際に医療現場で働く方々の姿を目にする機会も多かったことから、人の命を救う姿に憧れを持った子どもたちが多かったのではないでしょう。

### ・小学生の「大人になったらなりたいもの」



小学生・男子では、昨年に引き続き「会社員」が1位(9.6%)、「YouTuber／動画投稿者」が2位(9.3%)となりました。また、「サッカー選手」「野球選手」がそれぞれ3位・5位にランクインしました。サッカーでは東京五輪でも大きな注目が集まった久保建英選手、野球では米大リーグで最優秀選手(MVP)も受賞した大谷翔平選手など、若い世代の選手による世界での活躍も目立ち、どちらも変わらぬ人気を博しています。

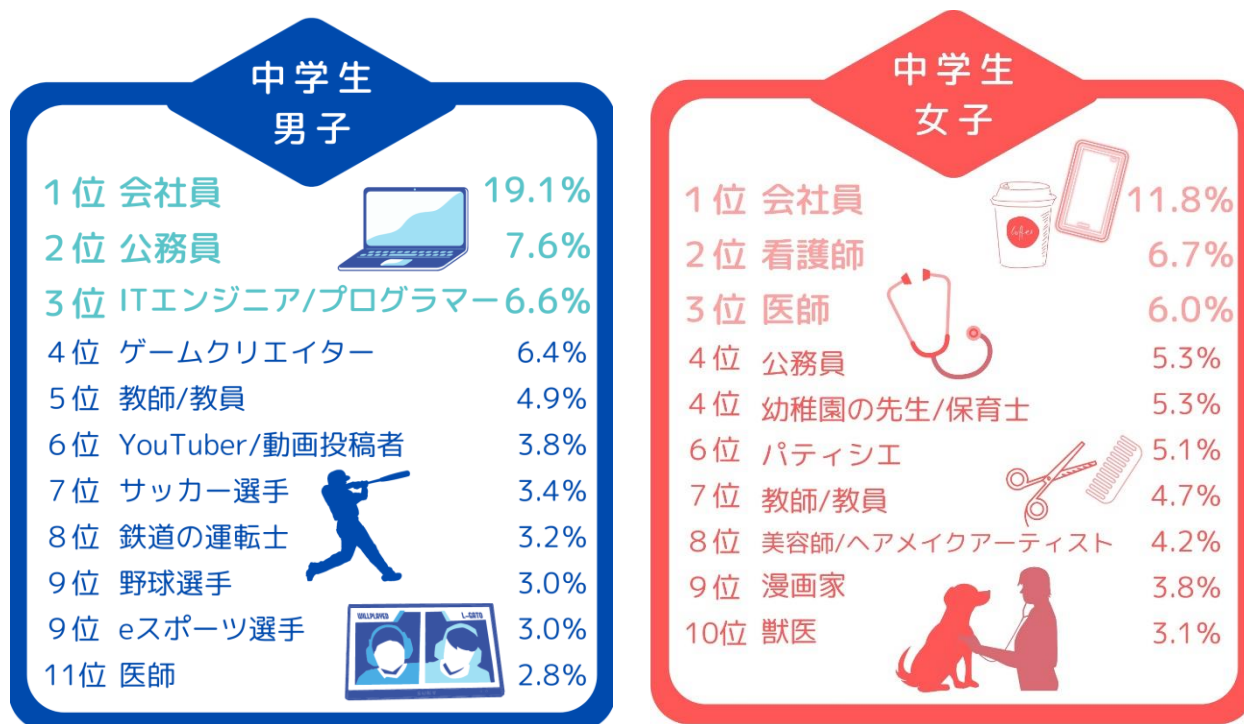
一方、小学生・女子では「パティシエ」が前回に続き変わらず1位(13.2%)、次いで昨年6位だった「看護師」が「幼稚園の先生／保育士」と肩を並べて2位(7.2%)とランクアップ！また、TikTokなどの動画投稿 SNS から新たなスターが生まれたり、視聴者参加型のオーディション番組が盛り上がりを見せたことからか、「YouTuber／動画投稿者」や「歌手／アイドル」といった職業もランクインしました。

### ■テレワークの普及で、ワークライフバランスの意識が一層高まる

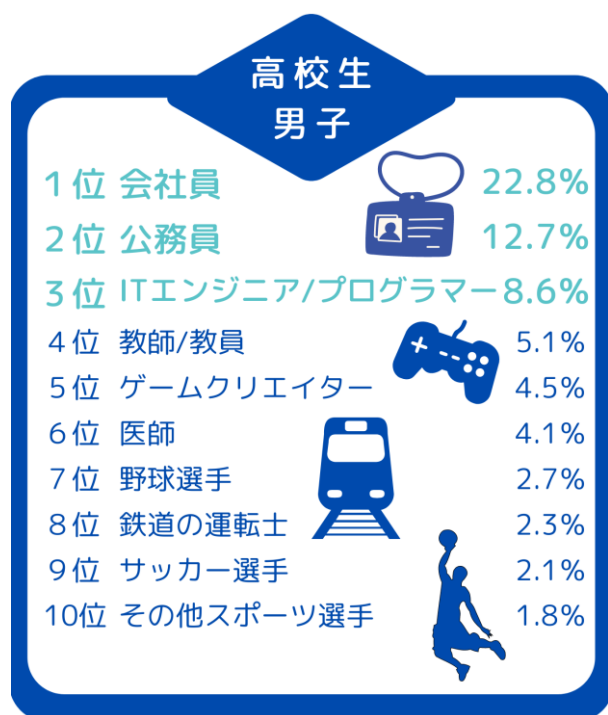
中高生のランキングでは、昨年に引き続き全部門で「会社員」が1位となりました。選んだ職業になりたい理由でも、「好きだから」「誰かの役に立ちたいから」に続いて「働きやすそうだから」という回答が上位に入っており、リモートワークの普及が加速(図1)したことで、働く場所を選ばない自由な働き方やワークライフバランスについて意識が高まっていることがうかがえます。

また、中学生・女子では「医師」が、ベスト3にランクインしました。厚生労働省によると、統計を取り始めた1968年には約1万6,000人しかいなかった女性医師は、2018年時点で7万人を超えており、医学部入学者に占める女性の割合はおおよそ3分の1となるなど着実に増加しています(図2)。高校生・女子でも「薬剤師」がランクインするなど、医療関係の職種がすべての年代で高い人気となりました。

・中学生の「大人になったらなりたいもの」



・高校生の「大人になったらなりたいもの」

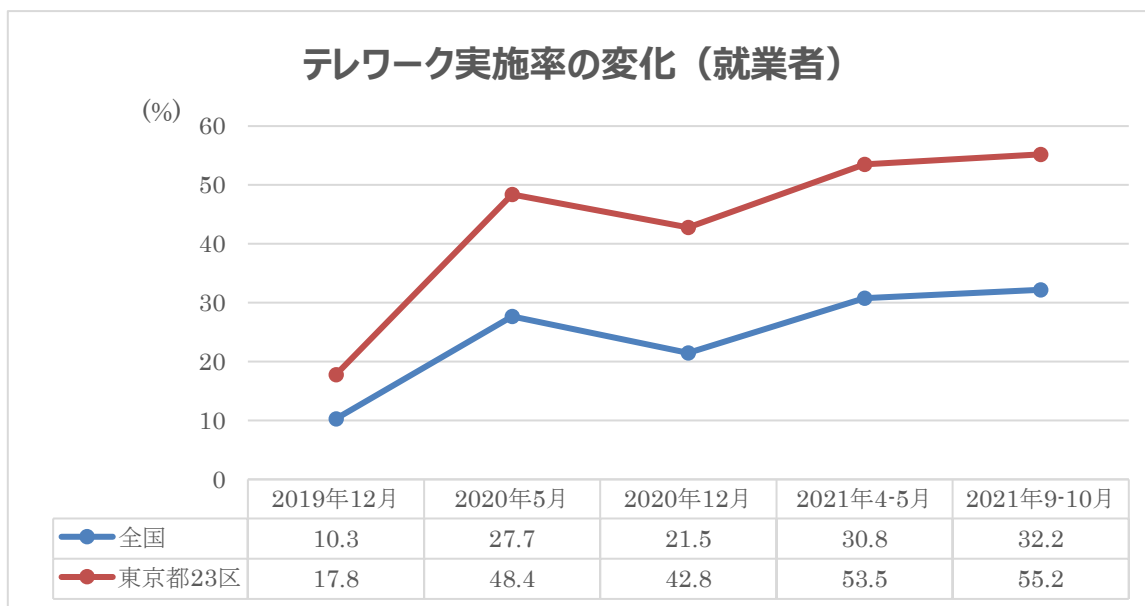


・選んだ職業になりたい理由

小学生・男子 (N=581)			中学生・男子 (N=471)			高校生・男子 (N=487)		
1位	好きだから	48.9%	1位	好きだから	38.2%	1位	好きだから	31.4%
2位	カッコいい/ 素敵だから	18.6%	2位	誰かの役に 立ちたいから	13.4%	2位	誰かの役に 立ちたいから	19.9%
3位	誰かの役に 立ちたいから	10.5%	3位	働きやすそうだから	11.5%	3位	働きやすそうだから	13.1%
4位	働きやすそうだから	4.8%	4位	収入が良さそうだから	8.7%	4位	収入が良さそうだから	10.3%
5位	収入が良さそうだから	4.3%	5位	カッコいい/ 素敵だから	8.1%	5位	親や親族がその 職業をしているから	6.6%

小学生・女子 (N=598)			中学生・女子 (N=449)			高校生・女子 (N=459)		
1位	好きだから	44.3%	1位	好きだから	37.6%	1位	好きだから	32.2%
2位	カッコいい/ 素敵だから	16.1%	2位	誰かの役に 立ちたいから	19.2%	2位	誰かの役に 立ちたいから	24.2%
3位	誰かの役に 立ちたいから	15.0%	3位	カッコいい/ 素敵だから	9.4%	3位	働きやすそうだから	10.5%
4位	働きやすそうだから	4.7%	4位	働きやすそうだから	7.3%	4位	収入が良さそうだから	8.1%
5位	親や親族がその 職業をしているから	4.7%	5位	収入が良さそうだから	5.6%	5位	カッコいい/ 素敵だから	6.3%

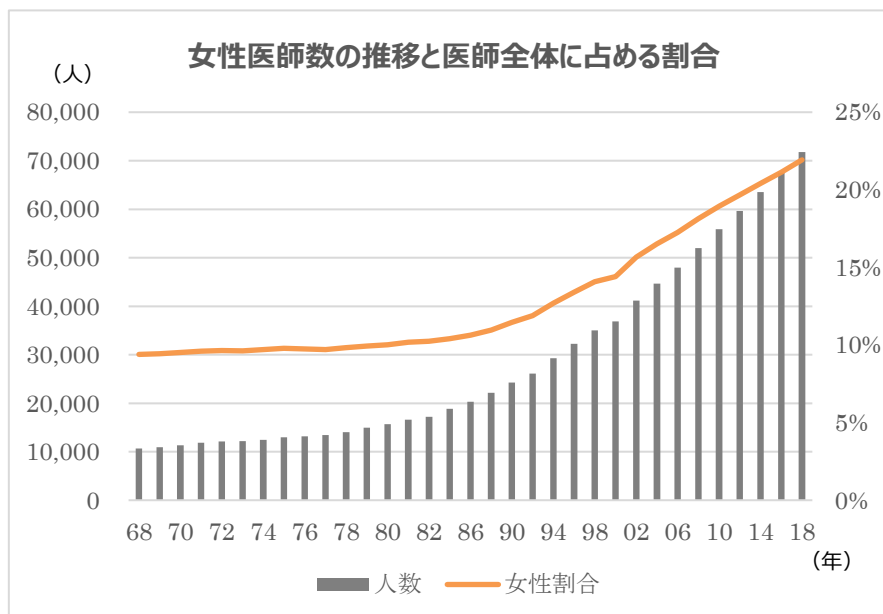
(図1)



(参考)内閣府「第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

URL: [https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/result4\\_covid.pdf](https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/result4_covid.pdf)

(図2)



※厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計表(2018)」

「統計表2 医師・歯科医師・薬剤師数の年次推移」を参照のうえ当社作成

#### ■Z世代・α世代が「会社員」としてチャレンジしたいことは

今回の調査では、「大人になったらなりたいもの」で「会社員」と回答した方を対象に、会社員としてどんな分野の仕事をしてみたいかを聞いてみました！

「決まっていない」という回答も見られたものの、具体的なイメージをもって「会社員」と回答している人も多く、男子の小中高全てにおいて、「科学技術・ものづくり」が1位となりました。民間人の宇宙旅行が実現したり、新型コロナウイルスワクチンや治療薬の開発で製薬会社が話題になったりする中、ロボット・メタバースといった最新技術や研究職などにも関心が集まったのではないのでしょうか。また、「食品・飲料」「住まい・街づくり」といった職業も人気で、Z世代(1995年以降生まれ)やα世代(2010年以降生まれ)と呼ばれるこの世代が大人になったとき、新しい価値観でどのような商品を生み出していくのか楽しみな結果となりました。

・「会社員」としてどんな分野の仕事がしてみたいか

小学生・男子			小学生・女子		
1位	科学技術・ものづくり	12.5%	1位	決まっていない	13.5%
1位	食品・飲料	12.5%	2位	ソフトウェア・IT	10.8%
3位	自動車	10.7%	2位	おもちゃ・ゲーム	10.8%
4位	ソフトウェア・IT	8.9%	4位	科学技術・ものづくり	8.1%
5位	旅行・レジャー（テーマパーク含む）	7.1%	4位	自動車	8.1%
5位	おもちゃ・ゲーム	7.1%	4位	ファッション・美容	8.1%
5位	鉄道	7.1%	4位	住まい・街づくり	8.1%
5位	運送	7.1%	8位	旅行・レジャー（テーマパーク含む）	5.4%
5位	決まっていない	7.1%	8位	金融（銀行・保険・証券など）	5.4%
10位	起業・経営者	5.4%	8位	イベント	5.4%

中学生・男子			中学生・女子		
1位	科学技術・ものづくり	15.6%	1位	科学技術・ものづくり	17.5%
2位	ソフトウェア・IT	11.1%	2位	商社	12.3%
3位	決まっていない	7.8%	3位	おもちゃ・ゲーム	7.0%
3位	おもちゃ・ゲーム	7.8%	3位	食品・飲料	7.0%
3位	住まい・街づくり	7.8%	3位	マスコミ（テレビ・新聞など）・出版	7.0%
6位	自動車	6.7%	6位	住まい・街づくり	5.3%
6位	商社	6.7%	6位	ファッション・美容	5.3%
8位	航空	5.6%	6位	広告・デザイン	5.3%
9位	金融（銀行・保険・証券など）	4.4%	9位	決まっていない	3.5%
10位	旅行・レジャー（テーマパーク含む）	3.3%	9位	自動車	3.5%
10位	運送	3.3%	9位	金融（銀行・保険・証券など）	3.5%
10位	起業・経営者	3.3%	9位	イベント	3.5%

高校生・男子			高校生・女子		
1位	科学技術・ものづくり	25.5%	1位	ファッション・美容	11.6%
2位	ソフトウェア・IT	10.9%	2位	商社	10.5%
3位	決まっていない	10.0%	3位	科学技術・ものづくり	9.3%
4位	自動車	8.2%	3位	食品・飲料	9.3%
5位	商社	7.3%	5位	決まっていない	8.1%
5位	住まい・街づくり	7.3%	5位	金融（銀行・保険・証券など）	8.1%
7位	食品・飲料	6.4%	7位	住まい・街づくり	7.0%
8位	鉄道	4.5%	8位	航空	4.7%
9位	おもちゃ・ゲーム	3.6%	9位	ソフトウェア・IT	3.5%
10位	金融（銀行・保険・証券など）	2.7%	9位	イベント	3.5%
10位	イベント	2.7%	9位	起業・経営者	3.5%
			9位	エンタメ（映画や音楽など）・芸術	3.5%
			9位	環境・気象	3.5%



## ■研究員のコメント(第一生命経済研究所 ライフデザイン研究部・主席研究員 的場康子)



皆さんはアンケート結果をみて、どのように感じましたでしょうか？今回の調査から、ポイントを2つ挙げてみました。

1つ目のポイントは、子どもたちは「働きやすさ」を求めて会社員になりたいと思っているということです。図表ではお示ししていませんが、会社員を選んだ理由として、全学年を通して男女ともに「働きやすそうだから」が最も多い回答でした。コロナ禍でリモートワーク、週休3日制、時差出勤など働き方の多様化が進みました。両親が在宅勤務をしている姿を見て、自分もこんな風に柔軟に働きたいと感じている子どもたちも少なくないのかもしれない。

しかも「収入がよさそうだから」の回答も用意していましたが、「働きやすそうだから」の方が上回りました。子どもたちは「収入」よりも「働きやすさ」を大切にしたいと思っているようです。もちろん「お金」を稼ぐことの必要性は誰もが思っていることです。でも、働くことの対価として何を重視するのかという価値観は多様化しています。その時のライフステージや仕事の向き合い方などによって異なる場合もあります。例えば、育児や介護で忙しい場合は「働く時間や場所の柔軟性」が大事ですし、自らの成長のために必要な知識や技術を習得したい人は「能力・キャリア開発のしやすさ」を重視して働きたいと思うことでしょう。「働きやすさ」というのは、働くことの対価として何を重視するのかという自分の価値観に基づいて、働き方を選べるようになるということでもあります。子どもたちは今の社会を敏感に捉えています。次代を担う子どもたちが自分らしく働き、持てる力を十分に発揮することができるよう、「働きやすい」社会を構築することが私たち大人の責務と思われれます。

2つ目のポイントは、子どもたちの多くが会社員となって挑戦してみたい分野に「科学技術・ものづくり」を選んでいることです。日本はこれまで「ものづくり立国」として、その伝統を受け継いできました。しかし、いまは国際競争力が低下しつつあると言われていています。これまで培ってきた「技術力」を子どもたちへどのように受け継ぎ、これからの社会に活かしていくのかが問われています。そのような中で、多くの子どもたちが「科学技術・ものづくり」に挑戦したいと答えたことは、日本の将来に明るい展望を与えてくれると感じました。

コロナ禍で子どもたちの学びの環境も変わりました。オンライン授業が全国的に展開され、学習コンテンツも充実しています。その中で、オンライン社会科見学など、全国各地のものづくりの現場にリモートで見学できる機会も増えました。こうした体験により、子どもたちは直接、ものづくりの素晴らしさ、それを支える人々の情熱に触れることができるようになりました。こうしたことの積み重ねが将来の仕事として、ものづくりの仕事を手近に感じさせるきっかけにもなるのかもしれない。これからの新しいデジタル社会を創っていく子どもたちの挑戦を尊重し、応援することが、「ものづくり立国」日本の復活のカギになるのではないのでしょうか。

(調査概要)

- 調査対象 : 全国の小学生(小学校3～6年生)、中学生、高校生
- サンプル数 : 3,000
- 調査方法 : クロス・マーケティング社によるインターネット調査
- 調査時期 : 2021年12月

※なお、当社では1989年より毎年、全国の幼児・児童(保育園・幼稚園および小学1～6年生)を対象に、「大人になったらなりたいもの」のアンケート調査を実施してきました。従来の調査では、第一生命の生涯設計デザイナーが訪問時にアンケート用紙を回収していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、前回よりインターネットアンケートによる調査へと調査手法を変更しています。

(報道関係者の皆さまへ)

本調査内容の転載にあたりましては、「第一生命『大人になったらなりたいもの』アンケート」と記載のうえご使用いただきますよう、お願いいたします。



(参考) 前回調査からの推移

・小学生の「大人になったらなりたいもの」

小学生・男子			小学生・女子		
順位	2021年 (N=581)	前回順位 (%)	順位	2021年 (N=598)	前回順位 (%)
1位	会社員 (9.6%)	1位 (8.8%)	1位	パティシエ (13.2%)	1位 (14.1%)
2位	YouTuber/動画投稿者 (9.3%)	2位 (8.4%)	2位	看護師 (7.2%)	6位 (4.3%)
3位	サッカー選手 (8.1%)	3位 (7.6%)	2位	幼稚園の先生/保育士 (7.2%)	3位 (6.0%)
4位	ゲームクリエイター (7.4%)	4位 (7.2%)	4位	会社員 (6.7%)	4位 (5.8%)
5位	野球選手 (6.5%)	5位 (6.4%)	5位	医師 (4.7%)	9位 (3.4%)
6位	医師 (4.8%)	ランク外	6位	YouTuber/動画投稿者 (4.3%)	ランク外
7位	公務員 (4.5%)	8位 (4.1%)	7位	美容師/ヘアメイクアーティスト (4.0%)	ランク外
8位	料理人/シェフ (4.0%)	9位 (3.4%)	8位	教師/教員 (3.8%)	2位 (7.1%)
8位	鉄道の運転士 (4.0%)	6位 (4.6%)	8位	歌手/アイドル (3.8%)	8位 (3.8%)
10位	警察官 (3.8%)	7位 (4.5%)	10位	漫画家 (3.6%)	5位 (4.5%)

・中学生の「大人になったらなりたいもの」

中学生・男子			中学生・女子		
順位	2021年 (N=471)	前回順位 (%)	順位	2021年 (N=449)	前回順位 (%)
1位	会社員 (19.1%)	1位 (18.3%)	1位	会社員 (11.8%)	1位 (13.6%)
2位	公務員 (7.6%)	3位 (5.7%)	2位	看護師 (6.7%)	3位 (6.9%)
3位	ITエンジニア/プログラマー (6.6%)	2位 (6.8%)	3位	医師 (6.0%)	7位 (3.3%)
4位	ゲームクリエイター (6.4%)	5位 (4.9%)	4位	公務員 (5.3%)	2位 (7.8%)
5位	教師/教員 (4.9%)	9位 (3.6%)	4位	幼稚園の先生/保育士 (5.3%)	6位 (3.8%)
6位	YouTuber/動画投稿者 (3.8%)	3位 (5.7%)	6位	パティシエ (5.1%)	4位 (5.6%)
7位	サッカー選手 (3.4%)	7位 (4.2%)	7位	教師/教員 (4.7%)	5位 (5.1%)
8位	鉄道の運転士 (3.2%)	6位 (4.5%)	8位	美容師/ヘアメイクアーティスト (4.2%)	10位 (2.9%)
9位	野球選手 (3.0%)	10位 (2.3%)	9位	漫画家 (3.8%)	ランク外
9位	eスポーツ選手 (3.0%)	10位 (2.3%)	10位	獣医 (3.1%)	ランク外
11位	医師 (2.8%)	7位 (4.2%)			

・高校生の「大人になったらなりたいもの」

高校生・男子			高校生・女子		
順位	2021年 (N=487)	前回順位 (%)	順位	2021年 (N=459)	前回順位 (%)
1位	会社員 (22.8%)	1位 (22.2%)	1位	会社員 (18.7%)	1位 (20.0%)
2位	公務員 (12.7%)	3位 (10.5%)	2位	公務員 (9.4%)	2位 (9.4%)
3位	ITエンジニア/プログラマー (8.6%)	2位 (11.5%)	3位	看護師 (7.4%)	3位 (7.4%)
4位	教師/教員 (5.1%)	5位 (4.3%)	4位	幼稚園の先生/保育士 (6.1%)	5位 (4.6%)
5位	ゲームクリエイター (4.5%)	4位 (5.7%)	5位	教師/教員 (5.2%)	4位 (5.2%)
6位	医師 (4.1%)	10位 (2.1%)	6位	医師 (3.7%)	8位 (2.4%)
7位	野球選手 (2.7%)	8位 (2.3%)	7位	ITエンジニア/プログラマー (3.1%)	ランク外
8位	鉄道の運転士 (2.3%)	8位 (2.3%)	8位	美容師/ヘアメイクアーティスト (2.6%)	8位 (2.4%)
9位	サッカー選手 (2.1%)	6位 (3.7%)	9位	パティシエ (2.4%)	6位 (4.4%)
10位	その他スポーツ選手 (1.8%)	— (※)	10位	薬剤師 (2.0%)	7位 (2.6%)
			10位	トリマー/ペットショップ店員 (2.0%)	10位 (2.0%)

※その他スポーツ選手は第33回(2021年)の調査から新たに選択肢を設置。